

令和6年度 第5回 引佐北部小中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年1月23日（木） 13時30分から15時20分まで
- 2 開催場所 引佐北部小中学校 校長室
- 3 出席委員 鈴木 知成、山本 培代、廣瀬 稔也、池田 信子、五十川 亜純
松田 好道
- 4 欠席委員 萬立 芳朗
- 5 学 校 小川 誠司（校長）、中道 茂美（教務主任）、平田 香織（教務主任）、
田力 里枝（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 田力 里枝
- 8 議長の選出

萬立委員が欠席のため、山本委員が推挙され、全員異議無くこれを承認した。

9 協議事項

学校関係者評価について

小学校教務主任

10 会議記録

司会の教務から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

学校関係者評価について

○学校関係者評価の視点から子供の姿を見るために、5時間目に授業の参観を行った。

（13時40分～14時05分）

- ・1年生が元気そうでよかった。中学生のタブレット使用の様子が見られなくて残念だった。複式学級の様子が見られてよかった。（廣瀬委員）
- ・めあてをもって学習しているのだなと分かった。全体のめあてから個人のめあてを立てられるとよい。（池田委員）
- ・複式学級での学習リーダーの進め方がよくなってきた。7、8年生はテーマに沿いながらも楽しそうな感じが伝わってきた。（五十川委員）
- ・短時間での参観では判断が難しい。（鈴木委員）

○学校評価アンケートについて

- ・評価8割以上を目指したいということでおおむね達成できているが、保護者の回答に青色（7割以下）が目立つ。「わからない」の回答も多いことから、いじめ対策の詳細が保護者に伝わっていないのではないかと。説明する時間を設けたほうがいいのかも。 （廣瀬委員）

→総会などで説明はしているが、個人が特定されないような言い方しかできないので詳細を理解していただくのは難しい。（校長）

- ・アンケートの文言が難しい。答えやすい設問に変更していく工夫が必要かもしれない。「主体性」を前面に出した本年度であるが、すぐに結果は出ないと思う。種はまかれたので何年か先が楽しみだ。(松田委員)
- ・複式学級を始めて、手応えを感じている部分もある。算数は4年生が3年生に教えたり、4年生にとっては復習になったりしている点でメリットを感じた。理科では単元によっては場所を分ける必要があると感じた。良し悪しは教科や単元によるのではないか。(平田教諭)
- ・他校との交流はあったか。(山本委員)
→2月に5、6年生が平山小とリモート授業を行う予定である。(平田教諭)

○今後の改善方策について

- ・今年度重点とした「主体性の育成」は、教職員の評価からは、意識して取り組んだが、成果としてはまだ表れていないと思われる。今後も継続していくことで、子供の姿につながっていくと思われる。(松田委員)
- ・肯定的な回答が低い項目は、「わからない」の回答が多いので、質問の仕方を検討してはどうか。(廣瀬委員)
- ・家庭学習について、「課題」から「自分に必要な学びを考えて取り組む」学習にしていこうという学校の考えが、保護者に伝わっていないことを感じる。保護者にも理解を得られるような取組が必要である。(松田委員)

11 報告事項

○夢育やらまいか推進事業CS加算分報告

- ・中等部の野外活動の費用として使った。今年度はかわな野外活動センターで行い、ウォークラリーや星空観察など充実した活動を行うことができた。

その他

次回会議について

- ・第6回を令和7年2月27日(木)13時30分から開催することとした。議長には萬立委員が推挙された。